

工務店やビルダーも被保険者に

東昇技 地震補償付の地盤保証を取扱開始 建工業

(南)東昇技建工業(松山市南高井町、小泉啓典社長)は、地震補償をセット化した総合地盤保証の取り扱いを開始した。工務店やビルダーも被保険者として適応、補償は最大500万円。今年10月に施行される「住宅瑕疵担保履行法」に合わせた住宅瑕疵担保責任保険では地盤・地震が免責であるため、リスク回避の商品として提案する。

同社は平成13年創業。住宅地盤調査や地盤改良工事等を展開。昨年には、GPS(位置情報)データなどを基に現場からリアルタイムで電子認証を行う国内初の住宅地盤第3者認証システム「G・Web System」を県内初導入。

新たに取り扱いを開始した「THE LAND Plus」は、地盤保証等のGIRと日本震災パートナーズが共同で開発。物件毎に全て大手損害保険の付保証明書を付けた保証書を発行し、10年に亘り保証する地盤総合保証商品「THE LAND」に地震補償をセット化したもので、工務店やビルダーも被保険者として適応。単年契約、最大500万円を補償。自

治体が発行する「り災証明」被害認定で施主に直接保険金を支払う。年間保険料は都道府県毎に異なり、本県は非木造1万4290円、木造1万6510円。今後は、四国全域で営業活動を展開していく計画で、「THE LAND Plus」初年度目標は300棟。